

1. 科目名 (単位数)	日本語学演習Ⅰ (文法・文体) (2 単位)	3. 科目番号	EJJP3323
2. 授業担当教員	金 銀姫		
4. 授業形態	講義、演習、グループ討議等	5. 開講学期	春期
6. 履修条件・他科目との関係	「日本語学Ⅲ (文法・文体)」を必ず受講しておくこと。		
7. 講義概要	日本語教育では、日本語の文法・文体に関する知識を理解していることが重要である。そこで、「日本語教育で用いられる日本語の文法」と「初等・中等教育で用いられる国文法 (学校文法)」の違いを認識しつつ、外国語として捉えた日本語の文法・文体についてさらに知識を深める。また、授業を通して学んだ知識を、日本語を教える際にどのように応用すればよいか考える。		
8. 学習目標	1. 「日本語教育で用いられる日本語の文法」と「国文法」の専門用語の違いが理解できる。 2. 日本語の文法・文体における特徴や規則について基礎的な知識が説明できる。 3. 日本語の文法・文体について日本語教育でどのように教えるのとよいか考えることができる。		
9. アサインメント (宿題) 及びレポート課題	1 受講者は、学習内容を事前に予習しておくこと。 2 受講者は、予習した内容について疑問点を用意すること。 3 期末レポート：既習した内容から一つのテーマを選び、その概要をまとめたうえで、日本語学習者に教える際の注意点と効果的な教え方について論じること。		
10. 教科書・参考書・教材	【教科書】山下暁美 (編著) 沢野美由紀 (著)『改訂版 書き込み式でよくわかる 日本語教育文法講義ノート』アルク 2019 年 【参考書】寺田和子 (著) 三上京子 (著) 山形美保子 (著) 和栗雅子 (著) 三好裕子 (著)『改訂版 日本語教え方 ABC』アルク 2002 年		
11. 成績評価の規準と評定の方法	○成績評価の規準 1. 「日本語教育で用いられる日本語の文法」と「国文法」の違いが理解できたか。 2. 日本語の文法・文体における特徴や規則について基礎的な知識を説明できるようになったか。 3. 日本語の文法・文体をどう教えるのとよいか考えられたか。 ○評定の方法 以下の点を総合して評価する 1 授業への参加態度 総合点の 30% 2 課題 (ワークシート、発表等) 総合点の 30% 3 提出課題 (レポート等) 総合点の 40% 上記の他に、本学の規定に定められている 3/4 以上の出席が単位の修得の条件であることも配慮した。		
12. 受講生へのメッセージ	この講義では、学生同士の討論や発表、質疑応答を中心に進めていきます。日本語教師として知っておくべき日本語文法を学び、さらに、日本語学習者に対する効果的な教え方についても考えていきます。		
13. オフィスアワー	授業内で知らせる。		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第 1 回	・オリエンテーション ・名詞・名詞文 (教科書第 1 課)	事前学習	シラバスと教科書 pp. 9-14 を読んでくる。 授業内容の第 1 回～第 15 回のテーマのうち、興味を持っている部分を考えておく。
		事後学習	学習した内容を復習し、それを効果的に教える方法について考える。
第 2 回	・形容詞・形容詞文 (教科書第 2 課) ・動詞の分類 (教科書第 3 課)	事前学習	教科書 pp. 15-26 を熟読したうえで、疑問点を用意しておく。
		事後学習	学習した内容を復習し、それを効果的に教える方法について考える。
第 3 回	・辞書形 (教科書 4 課) ・ます形 (教科書第 5 課)	事前学習	教科書 pp. 27-36 を熟読したうえで、疑問点を用意しておく。
		事後学習	学習した内容を復習し、それを効果的に教える方法について考える。
第 4 回	・て形 (教科書第 6 課) ・た形 (教科書第 7 課)	事前学習	教科書 pp. 37-47 を熟読したうえで、疑問点を用意しておく。
		事後学習	学習した内容を復習し、それを効果的に教える方法について考える。
第 5 回	・自動詞・他動詞 (第 8 課)	事前学習	教科書 pp. 48-54 を熟読したうえで、疑問点を用意しておく。
		事後学習	学習した内容を復習し、それを効果的に教える方法について考える。
第 6 回	・テンス (教科書第 9 課) ・アスペクト (教科書 10 課)	事前学習	教科書 pp. 55-62 を熟読したうえで、疑問点を用意しておく。
		事後学習	学習した内容を復習し、それを効果的に教える方法について考える。
第 7 回	・モダリティ (教科書第 11 課)	事前学習	教科書 pp. 63-66 を熟読したうえで、疑問点を用意しておく。
		事後学習	学習した内容を復習し、それを効果的に教える方法について考える。

			る方法について考える。
第 8 回	・ ヴォイス (教科書第 12 課)	事前学習	教科書 pp. 67-76 を熟読したうえで、疑問点を用意しておく。
		事後学習	学習した内容を復習し、それを効果的に教える方法について考える。
第 9 回	・ 授受表現 (教科書第 13 課)	事前学習	教科書 pp. 77-84 を熟読したうえで、疑問点を用意しておく。
		事後学習	学習した内容を復習し、それを効果的に教える方法について考える。
第 10 回	・ 助詞 (教科書第 14、15 課)	事前学習	教科書 pp. 85-96 を熟読したうえで、疑問点を用意しておく。
		事後学習	学習した内容を復習し、それを効果的に教える方法について考える。
第 11 回	・ 副詞 (教科書第 16 課) ・ 接続詞 (教科書第 17 課)	事前学習	教科書 pp. 97-110 を熟読したうえで、疑問点を用意しておく。
		事後学習	学習した内容を復習し、それを効果的に教える方法について考える。
第 12 回	・ 敬語 (教科書第 18 課)	事前学習	教科書 pp. 111-118 を熟読したうえで、疑問点を用意しておく。
		事後学習	学習した内容を復習し、それを効果的に教える方法について考える。
第 13 回	・ 条件 (教科書第 19 課)	事前学習	教科書 pp. 119-124 を熟読したうえで、疑問点を用意しておく。
		事後学習	学習した内容を復習し、それを効果的に教える方法について考える。
第 14 回	・ 発表 (第 1～13 回で学習したものをまとめて発表する)	事前学習	各自、既習した内容から一つのテーマを選んで、発表の準備をする。
		事後学習	発表をもとに、これまでの学習内容を振り返る。
第 15 回	・ 発表 (第 1～13 回で学習したものをまとめて発表する) ・ 授業のまとめ	事前学習	各自、既習した内容から一つのテーマを選んで、発表の準備をする。
		事後学習	発表をもとに、これまでの学習内容を振り返る。